

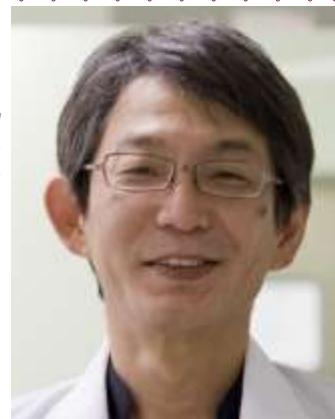
# しおん

福岡志恩病院

0942-23-0300

## ～ご挨拶～

ふじい けん  
医療法人 オアシス 副理事長 藤井 健



5月1日をもちまして福岡志恩病院は開業1周年を迎えます。当院は小橋、石谷、園田の3人の整形外科医師と、わたくし麻酔科医師の藤井の4人が最先端の医療を自分達の理想通りに行いたいという理念の基に設立した病院です。

この1年間大きな問題もなく順調に経過したことに関して、自分達の理念が誤りではなかったという安堵もありますが、私達を支えてくれた当院の職員の皆様、私達を信頼して受診していただいた患者様にはたいへん感謝しています。

当院は整形外科専門の病院なので、癌や脳卒中、心疾患等の生命に関わる病気を扱う病院ではありませんが、腰が痛い、肩が上らない、膝が痛くて歩けない等、皆様の日常生活を改善し違和感のない生活を過ごしていただける様になればと思っています。

前述しましたが私は麻酔科医師ですので、業務としては手術時の麻酔が中心です。今年2月の1ヶ月間の手術件数は52件でした。月曜から金曜までの平日の手術件数は1日平均2.5件、土曜日にも手術を行いました。

手術の麻酔に関しては皆様も不安が多いと思いますが、当院が開院して手術された患者様400人超になりますが、麻酔のトラブルは1例もありません。

手術適応となった患者様は不安、心配などがあると思いますが、福岡志恩病院の医師、看護スタッフ、リハビリスタッフ等、すべての部署のスタッフが連携して皆様のフォローし、安心して治療に専念できる様に努力していきたくと思っています。

# 「変形性膝関節症について」

いしたに えいち  
福岡志恩病院 院長 石谷 栄一



## 1 膝ってどんな関節？

膝関節は大腿骨(だいたいこつ)・脛骨(けいこつ)・膝蓋骨(しつがいこつ)の3つの骨とそれぞれを連結する強靱な靭帯(じんたい)で構成されています。

膝関節が正常なときは骨を覆う軟骨がクッションの働きをして、関節の滑膜(かつまく)から分泌される関節液はヒアルロン酸を含み粘調度が高く、関節の潤滑油と軟骨の栄養の働きをします。

また立った時に体重のかかる軸が股関節・膝関節・足関節の中心を通ります。

歩行時に体重の5～6倍もの力が膝にかかるのですが、中高年になって体重増加すると膝にかかる負担は大きなものになります。

日本人は膝の内側の軟骨が減るタイプが多く、進行すると体重のかかる軸がさらに傷んでいる内側を通るようになってしまいます。

○脚変形とも呼ばれます(写真1)。



(写真1)「O脚」膝の荷重軸の内側化

## 2 変形性膝関節症の初期から中期

まだ初期の変形性膝関節症では、軽度の関節軟骨の磨耗が生じているものの、本人が自覚するような症状はほとんどありません。

ところが、軟骨の磨耗がある程度すすむ(中期)と、膝の曲げ伸ばしや立ち上がりや歩行時に膝にかかる負担が増加して、軟骨や半月板(はんげつばん)の変性による刺激などにより関節炎が生じます。

関節炎が生じると、膝を曲げ伸ばししたときの痛みと動きの制限が生じます。また、関節液が多量に分泌されて関節に「みず」がたまります。

なお、この時は関節内のヒアルロン酸は逆に減少して、粘調度は低下しています。

この時期の治療は炎症をおさえるための投薬と関節内ヒアルロン酸注射、さらに周囲の筋力訓練がメインとなります。

## 3 変形性膝関節症の進行期

さらに変形性膝関節症が進行してくると、軟骨の磨耗(まもう)がさらに進み、軟骨下骨が露出して、骨棘(こつきょく)や骨破壊といった骨そのものの変形が生じたりします。

ここまでくると、単純な膝の動きのたびに、硬い骨同士が直接ぶつかり合うために非常に強い痛みを生じてしまいます。

また、膝関節の曲げ伸ばしの制限も高度となり日常生活において大きな障害となります。

治療としては投薬・注射・リハビリでの効果が多くを望めなくなるため、手術的な治療が必要となってきます(写真2)。

現在、当病院では保存治療や手術治療を、適応に応じて行なっております。



(写真2)軟骨が消失して、脛骨内側の骨破壊が生じた状態

膝関節に関する疑問・御質問等ありましたら、御気軽に当院医師に御相談ください。

# 変形性膝関節症に対する運動療法

リハビリテーション部長 多々良大輔



変形性関節症とは関節軟骨の老化や磨耗によって起こる、軟骨と骨との進行性の変性疾患です。

体重がかかる荷重関節(股・膝・足関節や脊椎)は、体重がかからない非荷重関節(肩・肘・手関節)に比べ、変形性関節症の発生を多く認めます。

関節軟骨は滑膜から分泌される関節液によって栄養を受けており、関節液は適度な圧迫(歩行・運動)により軟骨の中に浸潤し軟骨組織を潤しています。

加齢とともに骨・筋肉・靭帯の脆弱化が起こり、軟骨に非生理的(異常)な負担をもたらし始めます。その結果、軟骨は栄養障害を生じ軟骨や骨の変性、さらに滑膜・靭帯・筋肉へと進み、変形性関節症となります。

膝は最も負担がかかりやすい関節で歩行時には体重の1.5~2倍、階段昇降時には2~3倍の負担がかかると言われており、その為、容易に非生理的な状態に陥り変形性膝関節症を生じやすくなります。

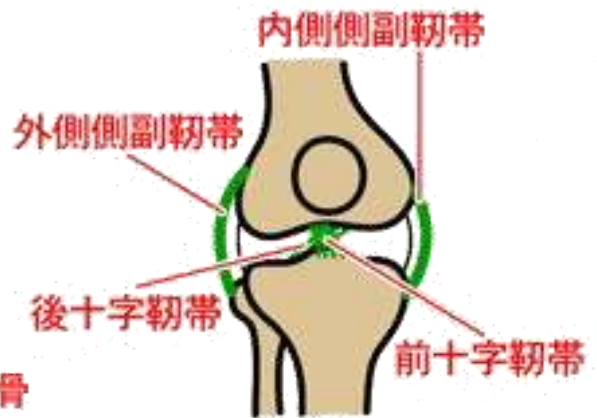
## 《膝関節の解剖》



■ 正面から見たところ



■ 側面(横)から見たところ



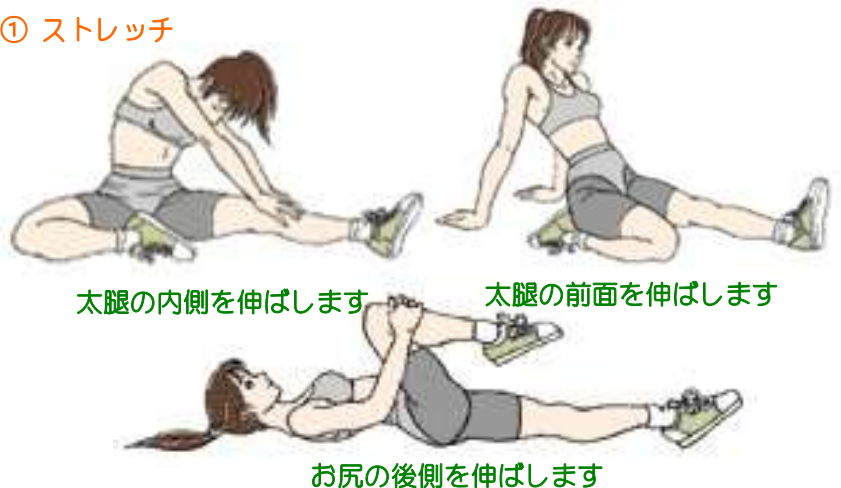
■ 正面から見たところ(靭帯)

## 《変形性膝関節症の病態》



## 《運動療法》

### ① ストレッチ



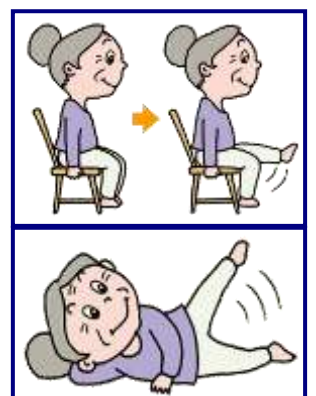
### ② 運動療法

椅子に座って、できるだけ背すじをのばし、膝をゆっくりのばします。脚をまっすぐにした状態で3つ数え、ゆっくり下ろします。(足首に重りをつけてはいけません) ~それを4~5回行います!~

横向きに寝て、上の脚をのばしたまま股を開くようにゆっくり上げます。3つ数えて、ゆっくり下ろします。 ~それを4~5回行ないます!~

その他、リハビリにおける治療に関して分からないことがございましたら、御気軽に当院リハビリテーション部スタッフの方に御声かけください!

※ 掲載している運動に関して、明らかに強い症状がある方が行なうと、より症状を増悪させることもありますので、ご注意ください!



# 各部門の紹介

## ★ 栄養部 ★

栄養部は管理栄養士2名で患者さまの栄養状態に応じた栄養管理を行なっています。

「安心・安全・美味しいお食事の提供」を目標に、患者さま一人ひとりに合わせたお食事を提供させていただきます。入院中の患者さまの楽しみの一つとなるお食事ですので、季節感や手作り感の溢れるお食事で皆さまをおもてなしいたします。

また、給食業務は株式会社LEOC(レオック)に委託しております。スタッフ一同、力を合わせて日々取り組んでいます。

皆さまに喜んでいただけるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



## ★ 事務部 ★

### 【総務課】

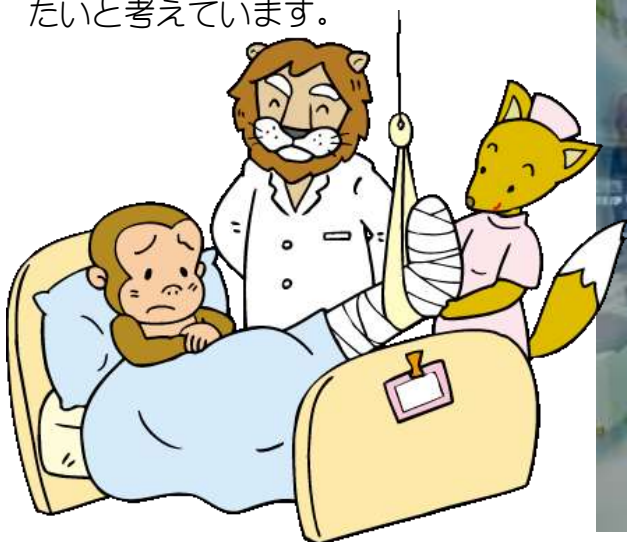
総務課は福岡志恩病院の事務部として、4名のスタッフで事務処理全般をおこなっています。

### ◆ 主な業務内容 ◆

1. 人事
2. 経理
3. 庶務
4. 施設管理
5. 物品管理
6. 許認可申請

上記の業務内容を細分化し、日々の業務にあたっています。

福岡志恩病院には様々な職種のスタッフが働いています。それぞれが密接に連携し、協力し合うことで患者さんをサポートしています。総務課で働く我々も例外ではありません。医療スタッフと同様「チーム医療」の一員として、これからも患者さん・病院スタッフを支えていきたいと考えています。





### 【保安係】

保安係は病院内の秩序維持を目的とし、各種事象、トラブルへの適正な措置・対応を講じることにより、患者さまが安心して診療を受けることができるよう、昼夜を分かたずなく警戒・見回り活動等を行なっております。

また、当院より西鉄三国が丘駅およびJR原田駅への巡回車の運行も毎日8便実施しておりますのでご利用下さい。

(土・日・祝日・お盆・年末年始等は運休、無料です)

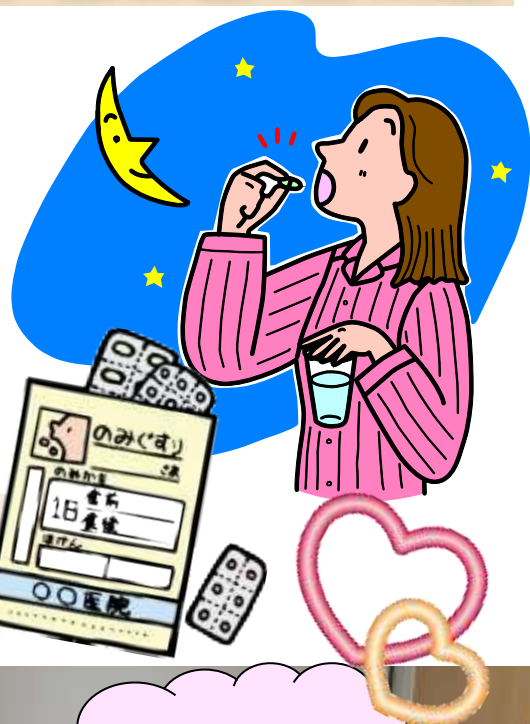


### ★ 薬剤部 ★

薬剤部では、薬に関するあらゆる業務を行なうことにより、患者さまに適切で安全な薬物療法を提供することを目標に活動しております。

特に、入院患者さまのベッドサイドで、処方されている医薬品に関する情報提供を行ない、正確に安全に薬を服用して頂くよう取り組んでいます。

患者さまとご家族のQOLの向上を第一義とし、医師、看護師を含むチーム医療の一員として、患者さまによりよい薬物療法を提供しながら活動してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



### ◆ 常勤医師の紹介 ◆

たなか やすと

### 田中 靖人 医師

こんにちは。2012年1月から常勤の整形外科医の田中です。

整形外科全般、特に外傷の治療を行なっています。

学生時代はサッカーをやっており、自分自身多くの怪我をしてきました。

そのような経験からスポーツ障害に興味を持ち、整形外科医を目指すようになりました。

当院の医師の中では一番若く、経験も浅いですが、少しでも皆さまのお役に立てるよう、全力で頑張りたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。



# 福岡志恩病院 ホームページのご案内

URLは <http://shion-hp.jp/> です。

外来診察担当医師の出張等による休診・変更や、各種イベントの案内、求人情報などを掲載し、随時最新の情報を更新しております。

## ◆ 薬剤部からのお願い ◆

現在、使用中のお薬(飲み薬、吸入薬、貼り薬、塗り薬、目薬、坐薬、自己注射等)がありましたら、その内容がわかるお薬の説明書、又は、お薬手帳をご持参頂きますようお願いいたします。

入院される際には、ご使用中のお薬について検査や手術等で支障が無いか確認させていただきます。

詳細につきましては、当院ホームページをご覧ください。



### ★病院へのアクセス★

#### ■お車でお越しの方■

福岡市内より 約45分  
久留米市内より 約25分  
鳥栖市内より 約15分

#### ■電車でお越しの方■

##### ●西鉄天神大牟田線●

福岡天神駅 ⇄ 三国ヶ丘駅 約30分  
西鉄久留米駅 ⇄ 三国ヶ丘駅 約15分

##### ●JR 鹿児島本線●

博多駅 ⇄ 原田駅 約20分  
久留米駅 ⇄ 原田駅 約15分



## 編集後記

福岡志恩病院広報誌「しおん」の編集委員、外来看護師の坂本です。開院してはや一年が過ぎようとしています。この一年はあっという間の一年でした。

私事ではありますが、小学生の子供が骨折をして当院で2度の手術・入院をさせてもらいました。

看護をする側、される側の両方を体験することで、普段気付かないいろいろな経験をさせてもらいました。その時に感じた気持ちを生かして、少しでも患者さまの立場に寄り添えるよう、今後も努力していきたいと思えます。

次回もお楽しみに。。。

こんにちは

